



総研大ニューズレター

第101号 2016.11発行

●目次

【今月のトピックス】

大隅良典本学名誉教授が2016ノーベル医学・生理学賞を受賞
 平成28年度秋季入学式
 平成28年度後学期フレッシュマンコース
 平成27年度(第21回)長倉研究奨励賞研究発表会・授賞式
 JSPSサマー・プログラム 報告会・送別会
 平成28年度秋季学位記授与式

広報社会連携室
 総務課
 学融合推進事務室
 学務課
 国際・社会連携課
 総務課

【受賞・採択情報】

大隅良典、太田朋子両名誉教授に文化勲章

【イベント情報】

主なイベント予定

11月3日	第19回先導科学研究科 学術講演会
11月4日	複合科学研究科統計科学専攻 大学院説明会
11月5日	2016年度先導科学研究科生命共生体進化学専攻 説明会・講演会
11月12日	生命科学研究科基礎生物学専攻 大学院説明会
11月27日	大学共同利用機関シンポジウム2016
12月10日-11日	総研大文化フォーラム2016 異文化へ旅する、異分野を旅する

【今月のトピックス】



● 大隅良典本学名誉教授が2016年ノーベル医学・生理学賞を受賞！

本学及び基礎生物学研究所名誉教授である、大隅良典博士が2016年ノーベル医学・生理学賞に選ばれました。大隅良典名誉教授は、本学において、平成8年10月から平成21年3月まで、12年半に渡り、生命科学研究科基礎生物学専攻教授として、11名の博士号取得者の輩出を含め、21名の学生への研究指導を行いました。本学で指導した修了生の方々は、既に関連分野で活躍しています。



本学のサイエンスカフェで講演される大隅良典名誉教授
 (2014年7月5日)

なお、本学のノーベル賞受賞者は、2008年ノーベル物理学賞の小林誠名誉教授に続き、2人目の快挙です。

総研大HPには、「学長からのメッセージ」と「在学生からのメッセージ」を掲載しております。下記のURLをご覧ください。

学長からのメッセージ：<http://www.soken.ac.jp/news/31209/>
 在学生からのメッセージ：<http://www.soken.ac.jp/news/31428/>

また、10月28日、今年度の文化勲章が贈られることが決まりました。

【広報社会連携室】

● 平成 28 年度秋季入学式

10月3日(月)に平成28年度秋季入学式が行われ、12ヵ国、38名の入学者を迎えました。式典に先立ち、ピアニストの野牧愛さんによる音楽演奏がありました。式典では、役職員の紹介に続いて、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ、入学許可されました。最後に、学長より式辞があり、出席者は新しい環境のもとで研究することに対して、緊張感をもって聞き入っていました。



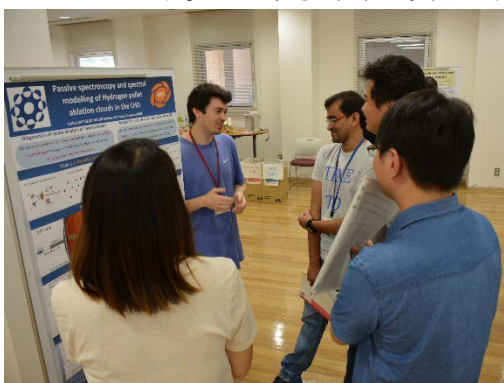
岡田学長の式辞

なお、入学者の出身国の内訳は以下の通りです。中華人民共和国8名、日本7名、インド、ベトナム社会主義共和国各4名、インドネシア共和国、パキスタン・イスラム共和国各3名、アルゼンチン、大韓民国、タイ王国各2名、ロシア連邦、南アフリカ共和国、バングラディッシュ人民共和国各1名。

【総務課】

● 平成 28 年度後学期フレッシュマンコース

平成28年度秋季入学式の後、10月3日から6日の4日間で平成28年度後学期フレッシュマンコース(F C)が開催されました。今回は33名の新入生・在学生在が受講しました。また、学生セミナー実行委員(学生委員)の在学生在、各研究科からのF C担当教員などの先生方、先導科学研究科及び学融合推進センターの葉山キャンパスの教員が参加しました。今年度のF Cは「知のフロンティア」「学生セミナー」「研究者と社会」「ライティング実習」の4つのプログラムで実施されています。なお、後学期は英語で開催され、参加学生もほとんどが外国人留学生でした。



学生セミナーの様子

1日目の「知のフロンティア」では、平成27年度長倉研究奨励賞の受賞者2名、文化科学研究科日本文学研究専攻の黄昱さん、先導科学研究科生命共生体進化学専攻の武田浩平さんによる各20分間の講演が行われました。講演会を通して、留学生にとっても日本人学生にとっても新しい考え方に触れられる機会になったかと思います。

続いて、「学生セミナー」では、学生委員による各研究科の紹介や各専攻の面白さがプレゼンテーションされました。1日目の終わりに懇親会が開かれ、新入生同士だけでなく、新入生と参加教員や先輩学生ともざっくばらんに会話する様子が見られ、交流を深め

ていました。

2日目は「学生セミナー」、「研究者と社会」の“第1部 研究倫理”でした。「研究者と社会」では、新入生が「最良の研究者像」についてワークショップ(以後、WS)を行い、各自で付箋紙に最良の研究者には何が必要かを箇条書きにし、各グループ内で議論しポスターをまとめ、その結果を発表しました。次に、講師から研究における不正行為等の研究倫理についての講義が行われた後、新入生は各自の研究分野で生じる不正とその対策について、「ショートエッセイ」を作成しました。

3日目は「研究者と社会」の“第2部 研究の社会史”と“第3部 科学コミュニケーション”が行われました。“研究の社会史”では、現在の研究者とその研究活動を特徴付ける要素に



研究者と社会“第1部 研究倫理”のWS風景

着目しながら、研究者やその支援体制が登場してきた背景や、研究者と社会との関係性の歴史の変遷について、19世紀頃からの研究(者)に関する科学史が語られました。“第3部 科学コミュニケーション”では、遺伝子組換え(GM)作物の野外栽培実験を巡る社会問題を題材にWSを行いました。新入生が研究者グループと農業関係者グループに分かれ、それぞれの利害について意見を出し合い、「研究者」として社会に伝えるべきメッセージは何か、異なる立場のそれぞれの価値観を理解するとは何か、など科学コミュニケーションについて学びました。ことにグループ発表では、活発な質疑応答が行われていました。



研究者と社会“第3部 科学コミュニケーション”のグループ発表の様子

4日目の「ライティング実習」では、“Scientific Writing”と題して、英語でのライティングについて学びました。始めの講義に基づき、二人一組

のペアワークを中心としたEditing WSを行いました。出された課題の推敲を行っている間はとても静かでしたが、それぞれの推敲について話し出すと、お互い熱心に意見しあっている姿が見られました。次のPresentation skill (NIG

method)では、国立遺伝学研究所URAの広海健本学名誉教授が講義を行なわれました。学生は、講義を通して、科学プレゼンテーションの目的や全体の組み立て方、発表の流れや内容を理解しやすくするコツなどを学びました。

4日間の合宿のスケジュールでしたが、連絡先を交換している様子が見られ、学生達が仲良くなるには十分だったように思われます。後学期は前学期と違い英語での実施ということもあり、参加学生も国際色豊かで、異分野交流に加え、異文化交流もできたのではないかと思います。授業内容については、学生からは概ね肯定的なアンケート結果でしたが、今後も意見を受けて、改善されていく予定です。



広海健名誉教授によるライティングの講義の様子

新入生の皆様には各専攻での研究、日本での生活と新しいことが多く待ち受けているかと思いますが、今回出会った仲間との交流をこれからも大切にしていだければと思います。今後、益々のご活躍を祈念しております。最後になりましたが、本プログラムにご尽力いただいた各専攻及び葉山の先生方に御礼申し上げます。



● 平成 27 年度（第 21 回）長倉研究奨励賞研究発表会・授賞式

9 月 27 日（火）に、平成 27 年度（第 21 回）長倉研究奨励賞の最終候補者 4 名による研究発表会が学融合推進センター棟 1 階で行われました。翌 28 日（水）に、選考委員会の後、学長室で授賞式が行われ、日本文学研究専攻の黄昱さんと、生命共生体進化学専攻の武田浩平さんの 2 名に岡田学長から長倉研究奨励賞の賞状及び副賞が授与されました。

また、その他の最終候補者の 2 名には、授賞式にて、岡田学長から総合研究大学院大学研究賞の賞状が贈られました。



審査（ポスタープレゼンテーション）の様子

受賞者一覧

○長倉研究奨励賞

黄 昱 文化科学研究科 日本文学研究専攻
研究テーマ 『徒然草』の漢籍受容と漢訳・継承

武田 浩平 先導科学研究科 生命共生体進化学専攻
研究テーマ タンチョウの儀式化した信号：なぜ、どのように多様なディスプレイを行うのか？

○総合研究大学院大学研究賞

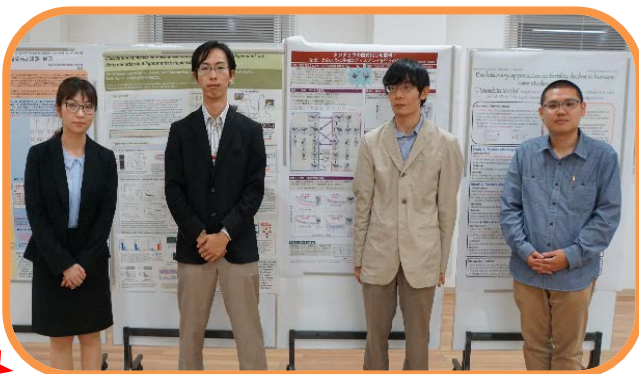
谷津 遼平 生命科学研究所 基礎生物学専攻
研究テーマ アメリカアリゲーター (*Alligator mississippiensis*) における温度依存型性決定機構の研究

森田 理仁 先導科学研究科 生命共生体進化学専攻
研究テーマ 進化から見たヒトの少子化：日本を対象として

★ 受賞コメント

長倉研究奨励賞受賞者の黄 昱さんから

この度、長倉研究奨励賞を頂きまして大変光栄に存じます。これまでご指導頂きました日本文学研究専攻の先生方、選考委員の先生方、および関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。本研究は受容と影響という二つの視点から『徒然草』と漢籍との関係を取り上げ、和から漢へ、漢から和へという「和」と「漢」の往還を通して古典化・権威化される本書の性格について考えたものです。この賞を励みに今後もより一層精進して参ります。



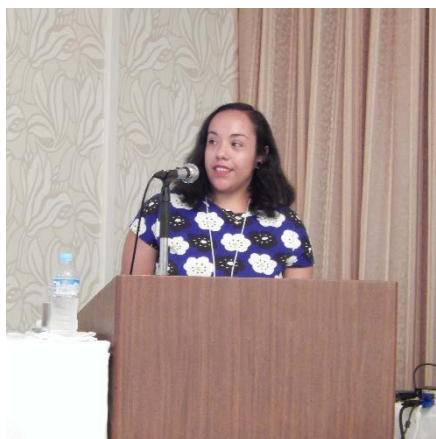
長倉研究奨励賞受賞者の武田 浩平さんから

このような栄誉ある賞をいただき、大変、光栄です。指導教員をはじめ、調査でお世話になっている方々、家族、友人など支え続けてくれた皆様のおかげであり、感謝しています。自分の発想で、自由自在に研究できる環境が、良い成果に結びついた重要な要素の 1 つです。今後とも、多様な研究分野で、自由な環境が維持されていくことを願っています。この受賞を励みにして、動物行動学の研究にさらに邁進し、受賞者に相応しい道を究めていきます。

★ 発表ポスターの前で。（左から黄さん、谷津さん、武田さん、森田さん）

● 『JSPS サマー・プログラム 報告会・送別会』が開催されました

JSPS（日本学術振興会）サマー・プログラムでは、アメリカ合衆国、イギリス、フランス、ドイツ、カナダ及びスウェーデンの6ヶ国から来日した博士号取得前後の若手外国人研究者（フェロー）が、全国各地の大学・研究機関での2ヶ月間の研究活動を終わりました。平成28年8月23



研究成果発表の様子

日、東京九段下に一堂に会し、その研究報告会が行われました。報告会前日は大型台風が本州を直撃し参加が危ぶまれたフェローもいましたが、当日は台風も逸れて、無事に全員そろっての開催となりました。各国の学術機関から選ばれた7名の代表者が研究成果について発表を行い、研究分野を越えて、活発な質疑応答が行われました。その後代表者に修了証書授与が行われ、引き続き各学術機関に分かれ1人1人に修了証が授与され、フェロー達は感激の様子でした。

その後の送別会は、全国の受入機関約20名の研究者や、6月に行われたオリエンテーションで特別講義をされた作曲家の安藤政輝先生など、総勢170名が参加する締め括りにふさわしい盛大な会となりました。オリエンテーションにあわせて行われた短期英語研修に参加した本学学生も何人か参加しており、彼らはフェロー達と熱心に話し込んでいる姿が見受

けられました。

送別会の途中では、現在東京大学のJSPS外国人特別研究員であるDr. Richard TAYLORより、事業経験者としてのプレゼンテーションがありました。Dr. Taylorは、2年前のサマー・プログラムのフェローであり、その話は、日本での研究生生活、JSPSの研究助成について等、フェローにとって興味深い内容でした。送別会の終盤には、フェローの日本での研究室での様子、文化体験や生活などのスライドが上映され、フェロー達は写真を見ながらこの夏に日本で過ごした2ヶ月間を、名残惜しく語り合っていました。



修了証授与後の集合写真（CNRSのフェロー）

来年度のJSPSサマー・プログラムの日程は、平成29年6月13日（火）～8月23日（水）（予定）です。11月現在申請受付中ですが、海外協力機関ごとに申請手続及び申請受付時期は異なりますので、詳細は日本学術振興会ホームページにてご確認ください。

<http://www.jsps.go.jp/j-summer/sinsei.html>

<https://www.jsps.go.jp/english/e-summer/appli.html>

今回のサマー・プログラムで本学及び基盤機関を受入機関としたフェロー達からの感想やコメントの一部を以下に記します。

Sandy BLINさん(ドイツ DAAD：総研大生命科学研究所生理科学専攻/生物学)

-研究室や研究について

生物学の研究は長いプロセスであり、来日した時は、予備的なデータだけでしたが、この2ヶ月間で技術的な問題を対処しながら研究を進めることができました。多くの新しい技術を学び、自分の専門分野で洞察を深めました。日本と自国の研究室の主な違いは、日本では週末も含め長い時間、研究室で研究しているということであり、また日本の研究室はとても静かで穏やかな雰囲気です。

-オリエンテーションで一番印象に残ったことについて

ホームステイが一番楽しく、ホストファミリーが日本の習慣や文化を教えてくれてとても素晴らしい体験をしました。また、日本での滞在先はあまり英語を話す人が多くない小さな都

市であったため、オリエンテーションでの日本語講義が大変役にたちました。また、講義でもらったテキストにより日本人との交流において互いに影響し合い、理解に役立ちました。

-JSPS サマー・プログラムについて

JSPS は可能な限りの条件で受入れていただき、日本という素晴らしい国で2ヶ月研究生活することができ、日本の食べ物や生活全てが楽しかったです。

Jennifer IGLESIAS さん (米国 NSF : 国立情報学研究所/数学)

-受入機関先について

受入教員とは国際会議で知り合う機会があり、指導教員より紹介していただきました。

-研究室の雰囲気や受入機関の環境について

本国の研究室との違いはあまりないですが、インターン生が20人ぐらいいる部屋にいて、雰囲気は自国にいる時より国際的です。2ヶ月という期間は集中的に研究ができる長さでちょうどいいです。研究内容はJSPS サマー・プログラム前に一つの研究テーマを決めてきたので、とても研究に興味深く進めることができ、受入教員や他の学生とも研究について深く話し合いができています。グループでセミナーを開いており、発表もしました。

-オリエンテーションについて

とても忙しかったが、文化体験も含めこのような体験をすることが他の時にないのでいい体験でした。特にホームステイは素晴らしかったです。異なる研究分野のフェローとも共に過ごせてよかったです。グループディスカッションも先生がよく対応して下さり充実していました。

【国際・社会連携課】

● **平成 28 年度学位記授与式**

9月28日(水)に講堂において、秋季学位記授与式が行われました。(修了生は、課程博士35名。今回含め、これまでの修了生は、課程博士1,890名、論文博士244名。)式典に先立ち、ピアニストの野牧愛さんによる音楽演奏が行われました。式典では、修了生一人一人に、岡田学長より直接学位記が手渡され、学長の式辞を真剣な面持ちで聞き入っていた修了生は、大学院生活の締めくくる授与式に、感慨もひとしおのようでした。最後に、修了生代表として比較文化学専攻の中田梓音さんより謝辞が述べられ、閉式となりました。

なお、今回の各専攻の修了生内訳は下記の通りです。

比較文化学1名、日本歴史研究1名、メディア社会文化2名、日本文学研究1名、機能分化科学2名、天文科学2名、核融合科学2名、宇宙科学1名、物質構造科学1名、素粒子原子核1名、統計科学1名、情報学14名、遺伝学2名、生理科学4名です。

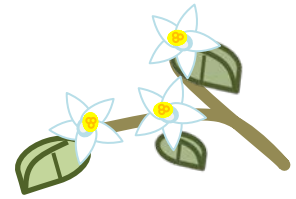


【総務課】



受賞

- 生命科学研究科 遺伝学専攻 太田朋子 総研大名誉教授
平成 28 年度文化勲章 受章
- 生命科学研究科 基礎生物学専攻 大隅良典 総研大名誉教授
平成 28 年度文化勲章 受章
- 文化科学研究科 国際日本研究専攻 小松和彦 教授
平成 28 年度文化功労賞 受賞
- 高エネルギー加速器科学研究科 物質構造科学専攻 2016 年 9 月修了生 原田彩佳さん
アメリカ結晶学会(ACA2016)ポスター賞(Journal on Structural Dynamics Poster Prize)受賞
- 物理科学研究科 宇宙科学専攻長 稲富裕光 教授
日本学術振興会 平成28年度科研費の審査表彰 受賞
- 複合科学研究科 統計科学専攻 宮里義彦 教授
公益社団法人・計測自動制御学会(SICE) 「SICE フェロー賞の称号 授与
- 複合科学研究科 統計科学専攻 池端久貴さん
第 5 回生命医薬情報学連合大会(IIBMP 2016)において、研究奨励賞 受賞
- 複合科学研究科 統計科学専攻 吉田亮 准教授
第 5 回生命医薬情報学連合大会(IIBMP 2016)において、研究奨励賞 受賞
- 複合科学研究科 情報学専攻 越前功 教授
国際会議 IFIP I3E2016 で Best paper award 受賞
- 複合科学研究科 情報学専攻 坊農真弓 准教授
2015 年度日本認知科学会(JCSS)奨励論文賞を受賞
- 複合科学研究科 情報学専攻 岩田陽一 助教
ICFP プログラミングコンテストで岩田助教らのチームが 2 年連続優勝
- 複合科学研究科 情報学専攻 鄭顕志 准教授
鄭顕志准教授らの論文が合同エージェントワークショップ&シンポジウム(JAWS2016)にて、
優秀論文賞 受賞
- 生命科学研究科 遺伝学専攻 北川大樹 教授
日本生化学会奨励賞 受賞
- 生命科学研究科 基礎生物学専攻 長谷部光泰 教授
2016 年度日本進化学会学会賞 受賞
- 総研大アドバイザーボード構成員 小長谷有紀 人間文化研究機構理事・国立民族学博物館併任教授
片倉もとこ記念沙漠文化財団 第 3 回ゆとろぎ賞 受賞



★ ★ ★
受賞コメント ★ ★ ★

高エネルギー加速器科学研究科 物質構造科学専攻 原田彩佳さん
 (現：高エネルギー加速器研究機構 構造生物学研究センター 研究員)

今回、American Crystallographic Association 2016 にて Journal on Structural Dynamics Poster Prizeを受賞できたことをとても嬉しく思います。ポスター発表では、タンパク質の立体構造決定における Native (Sulfur)-SAD 法の解析条件検討について発表を行いました。今後の研究への進展に期待されての受賞であると思っています。今回の受賞を励みに頑張っていきたいと思っています。



複合科学研究科 統計科学専攻 池端久貴さん

このような賞を頂くことができ、光栄に思っております。提案手法は、創薬、材料設計などの幅広い分野への応用が見込まれており、今後は、手法の改善とともに、応用分野の拡大への努力を重ねていきます。


【イベント情報】

●総研大の行事

11月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
3日(木)	10:00-12:00	先導科学研究科・学術講演会 「サイコパスは“悪”か？」 講師：横田晋大 特別研究員 「縄文人はマメを育てたの？ー土器圧痕から探る縄文時代の植物利用」 講師：那須浩郎 助教 会場：葉山キャンパス	http://www.soken.ac.jp/event/20161103/
4日(金)	14:00-16:00	複合科学研究科統計科学専攻 大学院説明会 会場：統計数理研究所(立川)	http://www.ism.ac.jp/senkou/setsumeikai.html
5日(土)	13:00-17:00	2016年度先導科学研究科生命共生体進化学専攻説明会・講演会 講演：「生命共生体進化学専攻における研究の最前線」 講師：飯田香穂里 准教授 「チャールズ・ダーウィンと進化論」 講師：那須浩郎 助教 「ドメスティケーションの考古学 ～縄文時代のダイズとアズキの栽培化～」 講師：Finlay Stewart 助教 「Diverse mechanisms for visual depth perception in arthropods ～節足動物の深さ知覚に見られる多様性～」 会場：葉山キャンパス	http://www.esb.soken.ac.jp/admissions/briefing_detail.html 
12日(土)	13:00-17:30	生命科学研究科基礎生物学専攻 大学院説明会 会場：基礎生物学研究所 明大寺地区(岡崎)	http://www.nibb.ac.jp/graduate/index.html
19日(土)	11:00-17:00	「やっぱり物理が好き！～物理に進んだ女子学生・院生キャリア～」(後援) 会場：東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構棟1F レクチャーホール 他(東京大学柏キャンパス)	http://www.ipmu.jp/ja/20161119-WomenStudents
27日(日)	11:30-17:35	大学共同利用機関シンポジウム2016 -研究者に会いに行こう！- 総研大ブース出展 17:20- 長谷川眞理子理事による総研大紹介 会場：アキバ・スクエア(秋葉原UDX 2階)	http://www.ism.ac.jp/events/intersympo2016/

12月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
12月10日 (月・祝) -11日(火)		総研大文化フォーラム2016 異文化へ旅する、異分野を旅する 講師：松原 正毅 国立民族学博物館名誉教授 荒木 浩 教授 (国際日本研究専攻) 榎本 涉 准教授 (国際日本研究専攻) 小島 道裕 文化科学研究科長 (日本歴史研究専攻・教授) 会場：国際日本文化研究センター (京都)	http://www.soken.ac.jp/event/sokendai-bunkaforum2016/ 
21日(土)	13:30-17:00	文化科学研究科日本文学研究専攻 平成28年度第2回特別講義 会場：国文学研究資料館 オリエンテーション室 (立川)	

●基盤機関の行事

11月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
開催中 -11月29日 (火)	10:00-17:00	特別展「見世物大博覧会」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20160908misemono/index
開催中 -11月29日 (火)	10:00-16:30	展示特設コーナー「源氏物語 画帖と古写本」 国文学研究資料館 展示室	
開催中 -12月17日 (土)	10:00-16:30	通常展示「書物で見る日本古典文学史」 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2016/bungakushi.html
開催中 - 12月18日 (日)	9:30 - 16:30	企画展示「身体をめぐる商品史」 国立歴史民俗博物館 企画展示室A・B	http://sakura.rekihaku.ac.jp/nairan/exhibitions/project/index.html
開催中 - 12月18日 (日)	9:30 - 16:30	特集展示「百貨店と近世の染織」 国立歴史民俗博物館 第3展示室	http://sakura.rekihaku.ac.jp/nairan/exhibitions/special/index.html
1日(火) - 11月27日 (日)	9:30-16:30	くらしの植物苑特別企画「伝統の古典菊」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	https://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/project/index.html
3日(木・祝)	13:30-16:00	平成28年度「古典の日」講演会 (主催：国文学研究資料館) イイノホール	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/lecture/2016/kotennohi.html
3日(木・祝) 5日(金) 6日(日)	10:00-17:00	太陽塔望遠鏡特別公開 国立天文台三鷹キャンパス	http://prc.nao.ac.jp/museum/einstein/
5日(土)	13:15-	4D2U定例公開「衝突する銀河」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
6日(日)	14:30-15:00	みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 「アンケートが語るビデオトークとみんぱく電子ガイド」 国立民族学博物館 本館展示場 (ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/444

9日(水)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル『展示キュレーションの誘惑—新しいみんなくの展示ができるまで』」<新しいアフリカ展示ができるまで> 国立民族学博物館 グランフロント大阪北館1階「カフェラボ」	
10日(木)	18:30-20:40 (開場17:30)	みんなく公開講演会 私たち人類はどこへ行くのか? 「スイカで踊る、クジラを祭る—生き物と人 共生の風景」 国立民族学博物館 日経ホール(東京)	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/alp/161110
11日(金)	13:15-	4D2U定例公開「衝突する銀河」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
11日(金)	18:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体: 月 > 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
12日(土)	13:00-15:00	第394回歴博講演会「身体をめぐる商品史 - 学問と企業の役割 -」国立歴史民俗博物館 講堂	https://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html
12日(土) -13日(日)	10:30-16:30	上映会・シンポジウム「台湾文化光点計画 民族誌映画にみる文化への視点—台湾、日本、ノルウェー、エチオピアの作品より」 国立民族学博物館 講堂	
12日(土) -13日(日)	13:00-16:30	みんなく×無印良品ららぽーとEXPOCITY 開業1周年記念みんなくツアー 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)等	
12日(土)	13:15-	4D2U定例公開「衝突する銀河」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
12日(土)	13:30-18:00	公開共同研究会「医療者向け医療人類学教育の検討—保健医療福祉専門職との協働」 国立民族学博物館 第6セミナー室(本館2階)	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/iurp/15jr179_04
13日(日)	14:30-15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「アラブ人キリスト教徒の視点からみた中東情勢」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/445
15日(火)	14:00-16:00	第305回日文研フォーラム「セルビア・アバンギャルド詩と『日本の古歌』」 ハートピア京都 大会議室	http://events.nichibun.ac.jp/ja/archives/cal/2016/11/15/index.html
16日(水)	11:30-12:15	ギャラリートーク 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2016/bungakushi.html
19日(土)	13:15-	4D2U定例公開「アストロノマー・トーク: 超新星爆発の中心エンジン」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
19日(土)	13:30-15:00 (13:00開場)	みんなくゼミナール「博物館の中の古代アメリカ文明」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/462
19日(土) -20日(日)	19日 13:00-18:30 20日 10:00-17:10	第40回国際日本文学研究集会 国文学研究資料館 2階大会議室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/symposium/2016/japanese_literature.html
19日(土) -20日(日)	両日とも 10:00-16:00	北大阪ミュージアムメッセ 国立民族学博物館 エントランスホール(本館1F)、特別展示館休憩所(BF)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/messe20161119-1120

19日(土)	13:30-15:00 (13:00開場)	みんなくゼミナール「博物館の中の古代アメリカ文明」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/462
23日(水・祝)	13:00-17:00	公開フォーラム「世界の博物館2016」 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/rm/museology161123
23日(水・祝)	14:30-16:00	すばる望遠鏡公開講演会 信州大学経法学部講義棟	http://subarutelescope.org/Announce/2016/10/03/j_index.html
24日(木)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル『展示キュレーションの誘惑—新しいみんなくの展示ができるまで』」<新しいオセアニア展示ができるまで> 国立民族学博物館 グランフロント大阪北館1階「カフェラボ」	
26日(土)	10:00-17:00	第103回歴博フォーラム「金鈴塚古墳のかがやき」国立歴史民俗博物館 講堂	https://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/index.html
26日(土)	13:30-15:30	第212回くらしの植物苑観察会「明治時代の菊ブーム」国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/observation/index.html
26日(土)	13:30-16:45	国立天文台講演会/第22回アルマ望遠鏡公開講演会「アルマ望遠鏡で探る星と惑星の誕生」 名古屋市科学館 サイエンスホール	http://www.nao.ac.jp/news/notice/2016/20160915-alma.html
26日(土)	18:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体：海王星> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
27日(日)	13:30-16:00	すばる望遠鏡公開講演会 広島市こども文化科学館 アポロホール	http://hiroshima-u.jp/hasc/news/2016-10-01-1854
27日(日)	14:30-15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 「博物学と見世物—珍獣幻獣大集合」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/446
29日(火)– 1月29日(日)	9:30-16:30	くらしの植物苑特別企画「冬の華・サザンカ」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	
30日(水)– 12月1日(木)		平成28年度みんなく若手研究者奨励セミナー 「人類学的営みにおける映像」 国立民族学博物館 第6セミナー室(本館2階)	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/youngseminar/wakate_seminar2016b

12月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
1日(木)– 17日(土)	10:00-16:30	展示特設コーナー「真山青果旧蔵資料展—その人、その仕事—」 国文学研究資料館 展示室	
1日(木)	10:30-11:50	ミンパク オッタ カムイノミ (みんなくでのカムイノミ) 国立民族学博物館 玄関前広場 (雨天の場合は特別展示館地下)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/kamui16
3日(土)	午前の部 11:00-12:00 午後の部 14:30-16:00	みんなく公演 アイヌ民話人形劇 ふんだりけったりクマ神さま 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/2016ningyou

4日(木)	13:30-16:30 (開場13:00)	みんなく映画会 みんなくワールドシネマ「パレードへようこそ」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs/movies1612
8日(木)- 2017年1月24日	10:00-17:00	年末年始展示イベント「とり」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	
8日(木)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル『展示キュレーションの誘惑—新しいみんなくの展示ができるまで』」<新しいアイヌの文化の展示ができるまで> 国立民族学博物館 グランフロント大阪北館1階「カフェラボ」	
9日(金)	13:15-	4D2U定例公開「地球型惑星の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
9日(金)	18:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体：アンドロメダ座γ星アルマク(二重星)> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
10日(土)	13:00-15:00	第395回歴博講演会「変わりゆく着物—幕末から昭和初期—」国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html
10日(土)	13:15-	4D2U定例公開「地球型惑星の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
11日(日)	14:30-15:00	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 国立民族学博物館 本館展示場	
15日(木)- 2017年1月24日	10:00-17:00	展示場クイズ「みんなQ—アイヌの文化編」 国立民族学博物館 アイヌの文化展示場	
17日(土)	13:15-	4D2U定例公開「地球型惑星の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
17日(土)	13:30-15:00 (13:00開場)	みんなくゼミナール「アイヌ語はどこから来たのか。そして、どこへ行くのか。」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/463
17日(土)	13:30-15:30	第213回くらしの植物苑観察会「近代のサザンカ」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	
18日(日)	14:30-15:15	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「先住民アート—アイヌとカナダ先住民の比較」 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)、アイヌ文化展示場	
21日(水)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル『展示キュレーションの誘惑—新しいみんなくの展示ができるまで』」<新しい日本の文化の展示ができるまで> 国立民族学博物館 グランフロント大阪北館1階「カフェラボ」	
24日(土)	18:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体：天王星> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/



【広報社会連携室から】

○総研大教員のテレビ等の出演情報

長谷川眞理子理事が10月14日(金)に放送されたNHK 視点論点(4:20-4:30)に出演しました。長谷川先生は、「ダーウィンと“人間の由来”」をテーマに話しました。詳細については、下記の番組案内をご覧ください。

<http://tvtopic.goo.ne.jp/program/nhk/1114/1002660/#>

○学融合推進センター 塚原直樹助教の研究が10月19日(水)に日本農業新聞の一面に掲載されました。

記事タイトル:「カラスをだませ ドローンとロボ “会話”再生、追い払い 総合研究大学院大が開発へ」日本農業新聞 WEB版から記事を見ることができます。

<https://www.agrinews.co.jp/p39231.html>

○神奈川新聞連載コラム記事について

本学の知名度向上と総研大教員の研究の社会還元を目的として、神奈川新聞リレー記事『最先端の現場—総研大発—』を6月10日(金)から毎月隔週(第2・第4金曜日)で掲載しております。11月2日現在、連載全24回中第10回目まで記事が掲載されました。連載記事は、総研大HP上でも見ることができます。

詳細は、下記のURLをご覧ください。http://www.soken.ac.jp/intro_researcher/

(総研大HP上での掲載は、権利関係上、掲載日から1年間のみとなります。)

【連載第10回までの執筆者一覧】

掲載順	掲載日	研究科	専攻	執筆者	役職
1	6/10	葉山本部	広報社会連携室	眞山聡	講師
2	6/24	物理	宇宙科学	橋本博文	准教授
3	7/8	文化	国際日本研究	細川周平	教授
4	7/22	物理	構造分子科学	正岡重行	准教授
5	8/13	生命	遺伝学	斎藤成也	教授
6	8/26	複合	極域科学	猪上淳	准教授
7	9/9	高エネ	物質構造科学	千田俊哉	教授
8	9/23	文化	日本歴史研究	山田康弘	教授
9	10/14	物理	天文科学	有本信雄	教授
10	10/28	複合	統計科学	吉田亮	准教授

新聞発行後、総研大HPに記事を掲載いたしますので、ぜひ総研大HPへお越し下さい!!

○11月27日(日)に開催される大学共同利用機関シンポジウム2016に参加

大学共同利用機関シンポジウム2016に参加します。当日は、総研大のブースを出展し、長谷川眞理子理事による総研大紹介「総研大とは ～トンガッタ研究者を育てる～」を行います。詳細は、下記の通りです。

【大学共同利用機関シンポジウム2016 -研究者に会いに行こう!-】

開催日時; 11月27日(日)、11:30-17:35

※17:20-17:30 長谷川理事による総研大紹介

開催場所: アキバ・スクエア(秋葉原UDX 2階)

参考URL: <http://www.ism.ac.jp/events/intersympo2016/>

○広報特派員の募集について

広報社会連携室では、広報特派員を募集しております。総研大の広報活動にご協力いただける学生さんの応募をお待ちしております。

詳細につきましては、下記URLをご覧ください。

<http://www.soken.ac.jp/disclosure/pr/information/corres/>



【編集後記】

総研大ニューズレター第 101 号をお届けします！このところ気温差の激しい日々が続いておりましたが、皆さま体調の方はいかがでしょうか。私ごとですが、10 月に出張で新潟県長岡市に行ってきました。長岡は蕎麦が有名とのことで「ぜひ食べよう」と思っていたのですが、食べられず。悔しいので、お土産に蕎麦を買いましたよ!!長岡で購入した“へぎそば”（右の写真）は、コシが違いました。残りは、今年の年越し蕎麦で食べたいと思います♪

トピックスの原稿をご寄稿いただけましたら、総研大ニューズレターへ掲載いたしますので、総研大関係のイベント、受賞情報等ありましたら、是非とも広報社会連携室まで情報をお寄せください。



へぎそばは、蕎麦のつなぎにフノリという海藻を使い、「へぎ」という器に盛った蕎麦のことです。

広報社会連携室 E・A

広報社会連携室では、メディアを通じて総研大の研究成果を広く社会に発信しています。特に、総研大在学生在が筆頭著者として研究論文を出版する際、プレスリリースを行う場合は、総研大と所属専攻（基盤機関）との共同プレスリリースを行っておりますので、是非総研大広報社会連携室までご連絡ください。

各専攻の学生・担当教員の「メディア出演」、「受賞・表彰」および「地域社会と連携・密着したアウトリーチ活動等の社会連携・貢献活動」についてニューズレター、ウェブ掲載等により発信しておりますので、各種情報は是非お寄せください。

研究論文を投稿する場合や、メディア等に出演される場合は、「総合研究大学院大学」と表記いただきますよう、総研大の知名度向上にご協力をお願いいたします。

発行 2016 年 11 月 2 日
編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

SOKENDAI (THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES)

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

広報社会連携室

TEL 046-858-1590 / FAX 046-858-1632

Email kouhou1(at)ml.soken.ac.jp

※(at)は@に変換してください。

©2016SOKENDAI